

### どんな活動？

国立情報学研究所(NII)では、音声資源の普及・配布を推進するために、**音声資源コンソーシアム(NII-SRC)**を設置しています。

NII - SRCでは、音声に関する学術・教育・産業の発展に必要な**音声資源(音声データやソフトウェアツール)の収集、配布、調査および研究**を行っています。

### なにがわかるの？

個人では作成が困難である音声コーパス(データベース)を組織的に大規模に整備・配布することにより、音声認識・音声合成をはじめとする、さまざまな研究の発展に寄与することができます。

また、方言や少数言語などの音声を保存することで、社会言語学や音声学においても貴重な資料となり、学術的寄与が考えられます。

## 1. 「音声コーパス」とは？

### コーパスとは？

研究のための資料を体系的に収集し、研究用の情報を付加したものを**コーパス(corpus)**と呼びます

例: 音声コーパス, テキストコーパス, 画像コーパス, マルチメディアコーパスなど

### 音声コーパスの種類と用途

【用途】 音声認識, 音声合成, 音声分析, 認識評価, 談話分析, 方言分析, 言語保存, など

【種類】 読み上げ(単語, 連続)音声, 対話音声, 会議音声, 方言音声, 多言語音声, 非母語話者音声, 乳幼児音声, 高齢者音声, 雑音環境, 残響環境 など

### 音声コーパスの形態

用途やデータ容量により異なりますが、その時代の主流のメディアが用いられます。現在は、DVD-Rによる配布が主流です。将来的にはネットによる配信も期待されています

【音声コーパスで用いられる配布メディア】

CD-R, DVD-R, HDD, DAT, LD など



### 音声コーパスの内容

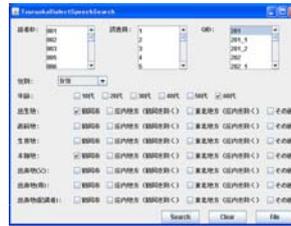
音声コーパスは音声データ以外にも、すぐに研究に使えるよう転記テキスト、分析データ、発話の様子を収録した動画、検索ツールなどを含んでいます



発話音声データ



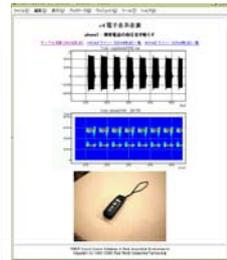
転記テキスト



音声検索ツール



発話画像データ



分析データ

## 2. 音声資源コンソーシアムとは？

### なぜ今、音声コーパスなのか？

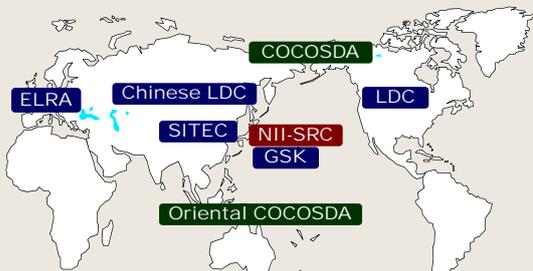
- 音声情報処理技術の進歩(音声認識, 合成など)
- 言語分野における計量的研究の展開
- 世界の諸言語・方言の保存, 研究・分析の重要性

各種・大量の音声データが必要

### 音声コーパスの問題点

- プロジェクト用, 実験用に作成されたものが多い
- 作成に費用, 時間, 手間がかかる
- 高価である
- 一般には非公開

音声データの作成・収集・蓄積・配布・共有のための共通の枠組みが必要



世界の音声・言語資源取り扱い機関

## 音声資源コンソーシアム(NII-SRC)

各種音声データの収集・管理・配布を行う機関として  
2006年 国立情報学研究所(NII)に設置

### 【活動内容】

- 音声コーパスの内容, 所在, 利用方法に関する情報の収集・提供
- 未公開コーパスの調査, 提供依頼
- 音声コーパスの配布, 普及, 広報活動
- 研究倫理, 話者承諾に関するガイドライン作成
- 音声情報処理に関する研究開発の推進
- 音声資源の標準化
- コーパスに関する調査・分析・研究
- 新しい音声資源の設計, 構築, 支援
- 海外の類似組織との連携

現在, 29種類の音声コーパスを取り扱っている